人へ、街へ、未来へ。
東急電鉄

2026年11月20日

リニューアルした田園都市線市が尾駅構内トイレが「第18回JTAトイレ賞」の「建築作品部門」において奨励賞を受賞しました！

東急電鉄株式会社

東急電鉄株式会社（以下、東急電鉄）、株式会社スタジオバッテリー建築研究所、東鉄工業株式会社がリニューアル工事を実施し、2026年4月に供用を開始した田園都市線市が尾駅構内トイレ（以下、本トイレ）は、このたび、一般社団法人日本トイレ協会の主催する「第18回JTAトイレ賞」（以下、本賞）の「建築作品部門」において奨励賞を受賞しました。

本賞は、快適性やデザイン、維持管理、社会貢献などの観点から、優れたトイレ空間や取り組みを表彰するものです。応募部門は建築作品部門、技術・研究・開発部門、維持・管理部門、社会的活動部門の4部門あり、トイレ環境の発展に寄与する多様な取り組みを広く顕彰しています。

本トイレは、お客さまに永く愛着を持っていただきたいという想いから、自然を感じられる街の特長を活かした「ひだまりと木立の自然あふれるトイレ空間」をコンセプトとしています。彩り豊かな緑のタイルとあたたかみのある木仕上げの入口ゲートをくぐり抜けると、木立のように連続する木ルーバーや雲に見立てた曲線天井から差し込む光によって、心地よさと安らぎが感じられる空間としています。また、リサイクルタイルの採用や、照明使用量を削減のためトップライトによる自然採光を取り入れることなど、環境にも配慮しています。

なお、地域のイメージを反映した温かみあるデザインに加え、多機能トイレのほか男女各々に「ひろびろブース」を新設し機能の分散や混雑解消、異性介助への配慮を図った点やゾーンごとの仕上げ材選定を実施している点が総合的に評価され、今回の受賞に至りました。



▲外観


▲通路


▲トップライト


▲ひろびろブース

（今後の予定）

東急電鉄では、時代に即した社会価値の持続的な提供を目指すため「旅客設備整備方針」を策定し、お客さまの駅ご利用時の快適性と利便性向上を目的として、駅ごとに定期的なトイレリニューアルに取り組んでおり、これ　までに「3つの100%」を完了しています。

また、2026年度冬頃には荏原中延駅にも駅構内トイレを設置予定で、これにより東急線全駅※1に駅構内トイレの設置が完了します。

【東急線各駅構内トイレ「3つの100%」】

●東急線内構内トイレの大便器洋式化100%※2
●ウォシュレット®設置100%※3
●手洗器非接触・自動水洗化100%※4

※1　世田谷線（上町駅除く）、こどもの国線は構内トイレがございません。
※2　荏原中延駅を除く設置駅全87駅で完了しています。（なお、全個室内にシートクリーナーを設置）
※3　「ウォシュレット」は　TOTO　株式会社の登録商標です。
※4　多機能トイレ内の補助的手洗器・オストメイトは一部手動水洗です。

以　　上

【別紙】

■田園都市線市が尾駅旅客トイレリニューアル工事 概要

〇事 業 主 体　東急電鉄株式会社
〇建 物 名 称　田園都市線市が尾駅
〇所　在　地　神奈川県横浜市青葉区市ケ尾町１１５６−１
〇工 事 内 容　旅客トイレの改修
〇設　　計　東急電鉄一級建築士事務所・株式会社スタジオバッテリー建築研究所
〇施　工　者　東鉄工業株式会社
〇着　　工　２０２５年８月
〇竣　　工　２０２６年４月

■一般社団法人日本トイレ協会概要

一般社団法人日本トイレ協会は、トイレ文化の創出と快適なトイレ環境の創造、トイレに関する社会的課題の改善に寄与することを目的に活動しています。

■ＪＴＡトイレ賞概要

２００９年度からスタートした「グッドトイレ選奨」は、審査基準を見直し、２０２３年度より「ＪＴＡトイレ賞」と名称を改め、今年で１８回を迎えます。「みんながいつでもどこでも気持ちよくトイレが使える」環境をつくり、それを持続できる社会をつくることを目標に、顕著な活動の実践や、提案を行っている方を顕彰するものです。トイレの環境づくりの模範になる作品を推奨しています。

■過去の主な受賞実績

●２０２２年度
田園都市線駒沢大学駅構内トイレ
・第１４回グッドトイレ選奨「奨励賞」



▲田園都市線駒沢大学駅構内トイレ

以　　上